

脱臭効果：テスト測定結果

テスト機条件 | 反応塔空気容量：134ℓ
送風容量：25.67ℓ
通過時間：5.2秒

検体名：原臭

濃度測定結果

測定項目	測定時間	濃度 (ppm)
アンモニア	10:27-10:32	58
トリメチルアミン	10:35-10:38	1.6
ノルマル酪酸	10:42	0.0019
ノルマル吉草酸	10:42	0.0023

検体名：処理ガス (水のシャワリングのみ)

濃度測定結果

測定項目	測定時間	濃度 (ppm)
アンモニア	11:27-11:37	0.4
トリメチルアミン	11:41-11:46	0.005
ノルマル酪酸	11:48	0.0006
ノルマル青草酸	11:48	0.0005未満

検体名：処理ガス (水のシャワリング+オゾン)

濃度測定結果

測定項目	測定時間	濃度 (ppm)
アンモニア	12:23-12:33	0.3
トリメチルアミン	12:40-12:45	0.005
ノルマル酪酸	13:00	0.0006未満
ノルマル青草酸	13:00	0.0005未満

臭気指数測定結果

処理ガス条件	測定時間	臭気指数	臭気濃度
原臭	12:25-12:35	46	40000
水シャワリングのみ	12:00-12:10	37	5000
排気口余剰オゾンガス濃度0.5ppm	11:10-11:20	26	400
排気口余剰オゾンガス濃度0.1ppm	1:40-11:50	12	16

考察：各物質の測定結果より、アンモニア、トリメチルアミン、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸は水のシャワリングにより99%以上取り除くことができました。今回の測定結果より、オゾンガス臭が臭気指数に測定されることが確実に、導入設備には、排気口にオゾンガス濃度計を設置して、余剰オゾンガス濃度が0.1ppmになるようにオゾン発生量を調整するシステムを設計いたします。

株式会社タムラテコ